

北海道議會時報

第 2 1 卷 第 2・3 号

昭 和 4 4 年 2・3 月



北 海 道 議 会 事 務 局

北海道議會時報第21卷第2・3号(昭和44年)

…… 第2・3号目次 ……

議会の動き

議会運営委員会	1
常任委員会	2
特別委員会	8
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
札幌オリンピック冬季大会特別委員会	
北方領土対策特別委員会	

会合

全国都道府県議会議長会	11
都道府県議会議員共済会	11
全国都道府県議会畜産振興対策協議会	11
新産業都市建設促進道県議会協議会	11
10都道府県議会議長会	11

1・2月のメモ

表紙写真

— 第20回さつぽろ
雪まつり —

(初江王像)

北海道議会議務局撮影

議会の動き

議会運営委員会

- 2月5日 午後2時40分、議会運営委員会室において開議、午後3時散会、委員長 伊藤 作一（自民）
- ① 議会運営委員会理事会の構成について、自民党から議員数の異動により自民党理事2人を3人にされたい旨申し入れがあり、次回までさらに協議することに決定。
 - ② 本委員会の委員席の変更を了承。
 - ③ 第1回定例会の招集日を2月25日とすることを了承。
 - ④ 公正クラブの解消および議員の欠員による会派の異動に伴う議席の変更について、局長説明のとおり変更することを了承。
 - ⑤ 会派の異動に伴う北方領土、総合開発、札幌オリンピック各特別委員会の委員各1人の欠員については、自民党から補充することに決定。
 - ⑥ 会派の異動に伴う1定における予算特別委員の構成については、自民党31人、社会党19人、公正クラブ1人、公明党1人、共産党1人の53人とすることとし、これに伴う分科会の構成は、第1分科会18人、第2分科会17人、第3分科会17人の52人とし、正副委員長の配分については、交互に行ない、第1分科会の長は自民、副は社会、第2分科会の長は社会、副は自民、第3分科会の長は自民、副は社会にそれぞれ配分することを決定。
 - ⑦ 会派の異動に伴う控室の割り当てについて局長説明のとおり割り当てることを了承。
 - ⑧ 事務局長から、議場の改修内容について説明。
 - ⑨ 補欠選挙関係経費の専決処分することを了承。
- 2月22日 午後零時37分、議会運営委員会室において開議、午後1時2分散会、委員長 伊藤 作一（自民）
- ① 総務部長から、第1回定例会提出予定案件等についての説明を聴取。
 - ② 第1回定例会の会期を2月25日から3月29日までの33日間とすることに決定。
 - ③ 第1回定例会のスケジュールについて事務局長説明

のとおりとすることに決定。

- ④ 総務部長から、道政執行方針および提出議案の説明方法について申し出があり、異議なく道政執行方針は知事が、提出議案の説明は副知事(三枝)が行なうことを了承。
- ⑤ 事務局長から、議場の改修計画等について説明。

常任委員会

総務委員会

○1月20日 午後零時8分、第5委員会室において開議、
午後零時45分散会、委員長 神部 俊郎(自民)

請願、陳情の審査

請願

第110号 小樽市松ケ枝1丁目附近のバス運行に関し交通安全の件 (採択)

一般議事

- ① 青木委員(社会)から、44年度国費予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。
- ② 総務部次長(浅井)から、44年度地方債計画および地方税改正について説明を聴取の後、
青木委員(社会)から、新産業都市等建設事業債の要求額、地方税法改正による道財政に及ぼす影響および補てんの方法、固定資産税税率引き下げの実施予定、市町村の動向、超過負担解消の見通し等について質疑、総務部次長(浅井)から答弁。
- ③ 道警防犯部長から、歳末警戒取り締りの実施結果について説明を聴取の後、
池島委員(社会)から、札幌東署刑事一課の警部補が警戒中路上で殉職した事件の公務災害適用の有無について質疑、道警防犯部長から答弁。

○2月3日 午後1時40分、第5委員会室において開議、
午後3時8分散会、委員長 神部 俊郎(自民)

一般議事

- ① 総務部長から、北海道百年記念事業の施行概要および事務局の廃止について説明を聴取の後、
竹内委員(社会)から、地域事業中、市町村負担分に対する見解および記念塔建設期成会に対する寄付の状況と将来の見通し、
青木委員(社会)から、道の寄付金は、事業の進捗状況をみて予算措置をするのかどうか、野幌森林公園造成の見通し等について質疑および要望があり、総務部長から答弁。
- ② 総務部長から、胆振支庁苫小牧税務出張所における盗難事件についての説明を聴取。
- ③ 新潟県立病院、福島医科大学の整備状況等の調査および中央折衝についてはかり、異議なくそのことに決定、派遣時期、派遣委員については委員長に一任する

こととした。

- ④ 池島委員(社会)から、札幌医大の整備改善対策に関連して、看護婦の増員に対する見解、医師、看護婦の増員に伴う宿舎、詰所および保育所の変更計画と看護婦寄宿所に日勤、準夜勤、深夜勤を同一部屋に寄宿させることに対する労基法違反の有無、養成施設に対する配慮と非常勤の看護婦有資格者の取り扱い、無給医局員に対する改善方策、

野村委員(公明)から、外来患者診察敏捷化に対する方法、待合室の整備および看護婦の深夜勤務手当の改善に対する見解、東病棟の整備促進と正面玄関をロードヒーティングすることの見解、各科毎のベット数と待機患者数のアンバランス是正、

青木委員(社会)から、医大整備計画の有無、整備計画ならびに百年記念塔寄附金資料の提出方、

竹内委員(社会)から、将来の整備基本計画の作成および企業会計とすることの検討方

等について質疑、意見および要求があり、総務部長から答弁。

- ⑤ 池島委員(社会)から、10.8公務員斗争に係る処分問題に関し、処分をした目的、他の地方公共団体に比し処分がきつい根拠、道民に迷惑をかけたとする具体的内容、人事院勧告を積極的に実施させるため、知事のとつた措置および将来、政府が勧告を実施しない場合の措置、

青木委員(社会)から、44年度道予算の規模と伸び率等について質疑、総務部長から答弁。

○2月8日 午後1時43分、第5委員会室において開議、午後3時8分散会、委員長 神部 俊郎(自民)

一般議事

総務部次長(森)から、2月上旬の雪害による被害状況とその対策、道警防犯部長から、救助対策等、同交通部長から、交通規制等について、それぞれ説明を聴取の後、

青木委員(社会)から、2月4日から8日まで道警、道開発局、自衛隊等の出動人員数、警報受理後開建に対し出動要請をした時間の開き、連絡部設置の遅れた理由、交通規制を厳格にすれば事故は減少したと考えるがどうか、道企画部と道開発局との連携内容、自衛隊出動を要請した時間と時間的空白を生じた理由ならびに今後の降雪に伴う対策方針、無縁車の行動、

村本(三)委員(社会)から、雪害に対する体制の弱さ、消防団に対する協力依頼の有無、スコップ、チェーン等を装備していない自家用車が多いが運転手に対する指導状況、排気ガス中毒に対処する指導の弱さ、豪雪地帯における国鉄の動員体制に比し、道の体制が弱い、道の国鉄に対する接し方に弱さがないか、民

間との協力態勢の取り組みとその利用に対する見解、豪雪時の体制における支庁毎の指示または申し合せの有無と今後の対策、道道の除雪状況、道、道開発局の所有する機械力、

池島委員(社会)から、開建は道路管理者として責務を果たしたかどうか、機敏な出動の不備に対し道として開建に対し正式に指摘することの見解等について質疑、意見および要望があり、総務部次長(森)、道警防犯部長、同交通部長、企画部次長から答弁。

厚生委員会

○1月21日 午前11時26分、第9委員会室において開議、午後 零時30分 散会、委員長 岩田 徳治(自民)

一般議事

① 委員長から、昭和44年度国費予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、ついで民生部長および衛生部長から、国費予算の概要について説明を聴取の後、

大石委員(社会)から、救急医療調査費の内容、医師、看護婦の充足と全国的交流の必要性、

松尾委員(自民)から、水産加工における婦人労働力の必要性に伴い季節保育所予算要求の所管部および十分な連携の方、

佐藤(八)委員(自民)から、常設外の保育所の道独自の設置方、保育行政全般に対する見解、保育所開設の条件および託児所の状況の資料提出方等について質疑、意見および要望があり、民生部長および衛生部長から答弁。

② 民生部長から、札幌育成園における感冒発生の経過について説明を聴取の後、

大石委員(社会)から、施設における感染状況、今後の健康管理の注意方

等について質疑および要望があり、民生部長から答弁。

③ 衛生部長から、北海道医療総合対策連絡協議会の審議状況ならびに中間答申について、説明を聴取の後、

大石委員(社会)から、現場の意見を反映するよう配慮方、

新川委員(社会)から、答申の時期と44年度道費予算との関連性、地方医療センター設置についての徹底した検討方

等について質疑、意見および要望があり、衛生部長から答弁。

④ 大石委員(社会)から、1月19日の全道看護婦総決起大会に提起された諸問題に対する早期解決の見とおしとこれに対応する資料の提出方、

合坪委員(社会)から、深夜勤務の実態と当直制および医師不足によるベツト規制状況の資料、

倉増委員(自民)から、開業医の実態および医療従事者養成機関に関する資料、

新川委員(社会)から、道立関係病院における患者に対する医師定数、現員および養成後の卒業生の動向ならびに養成機関の整備強化対策と現況に関する資料等について質疑、意見および要望があり、衛生部長から答弁。

○2月4日 午前11時48分、第9委員会室において開議、午後零時51分散会、委員長 岩田 徳治(自民)

請願、陳情の審査

請願

第129号 栄養士法等の改正に関する件 (採択)

第141号 調理師必置制度実現の件 (採択)

第158号 公衆浴場業の適正距離等の件 (保留)

第164号 医療従事者の増員と夜勤制限の件 (採択)

一般議事

衛生部長から、道立病院の看護婦の勤務条件について説明を聴取の後、

大石委員(社会)から、看護婦養成機関の卒業生の動向、看護単位は病類、症状により異なると思うがその基準、看護職員の法定数についての道の見解、看護職員の最低数の確保方、関係機関との連携に基づく道内における必要数の検討と積極的補充方、

遠藤委員(社会)から、看護単位基準の内容、

合坪委員(社会)から、新病の発生および産科等の実態に即した法定職員数の適否および配置、

倉増委員(自民)から、道内の看護婦養成機関に関する資料、市町村立病院、一般病院における看護婦の実態、

新川委員(社会)から、看護婦の道外流出防止対策、44年度予算編成にあたり看護婦養成機関に対する配慮、道立衛生学院を発展的に伸ばしていく方途、

佐藤(八)委員(自民)から、潜在看護婦の調査の有無等について質疑、意見および要望があり、衛生部長から答弁。

商工労働委員会

- 1月21日 午後1時41分、第2委員会室において開議、
午後2時28分散会、委員長 湯田 倉治(社
会)

一般議事

- ① 商工部長、労働部長および企業局長から、44年度国費予算折衝の経過についての説明を聴取。
- ② 商工部長から、昭和43年度年末金融の取り扱い実績について説明を聴取。
- ③ 労働部長から、北海道労働審議会の北海道における当面の労働対策に関する意見具申等について説明を聴取の後、
石林委員(自民)から、若年労働者道外流出に関し、現在の道の施策で防止できる可能性、住宅厚生施設等収容施設を完備する等の考慮による防止対策、
委員長から、本州との賃金格差、厚生施設、労働条件に対する経営者の十分な指導方、意見具申の中で、指導員と技能センターの役割と設置箇所、技能労働者の表彰を毎年行なっているか等
について質疑、意見および要望があり、労働部長から答弁。

- 2月4日 午前11時52分、第2委員会室において開議、
午後零時33分散会、委員長 湯田 倉治(社
会)

請願、陳情の審査

請願

- 第19号 航空路線の確保並びに運航に伴う財政援助等の件 (取り下げ)
- 第61号 農電の北電移管に伴う農家負担軽減対策の件 (取り下げ)
- 第98号 寿都鉄道株式会社再建資金の調達等の件 (取り下げ)

一般議事

- ① 委員長から、石林委員(自民)が1月30日付けて議員を辞職された旨を報告。
- ② 労働部長から、季節的受給者通年雇用奨励金制度の利用状況について提出資料にもとづき説明を聴取の後、
笠島委員(社会)から、1人当たりの奨励金額、指定業種の内容、全額国費かどうかおよび枠を越えたときの措置
について質疑、労働部長および失業保険課長から答弁。
- ③ 商工部長から、市乳価格の値上げ問題について説明を聴取の後、
浜村委員(社会)から、今回の値上げに対する道の方

針および3大メーカーの一せいで値上げに対する独禁法上の見解、メーカーおよび小売店の利益等、

笠島委員(社会)から、利幅、経営等の実態把握の有無、行政指導の態度と方針、議会としての方向づけ等について質疑、意見および要望があり、商工部長から答弁の後、議事進行の都合により午後零時12分休憩、午後零時18分再開、市乳価格値上げ問題の取り扱いについては、理事会に一任することに決定。

- ③ 阿部(文)委員(自民)から、商工部の機構改革に関し、指導課の設置とともに全般を根本的に検討する必要性、

笠島委員(社会)から、札幌駅前地下商店街に関し、道の指導および計画内容の十分な検討方、

佐藤(幹)委員(自民)から、商工部の機構改革に関し、支庁の商工関係を強化する必要性、

委員長から、暴力団員の社会復帰促進に関して、再就職のため専門の窓口を設置したのは札幌市のみか
について質疑、意見および要望があり、労働部長から答弁。

農務委員会

- 1月20日 午前11時20分、第7委員会室において開議、
午後零時42分散会、委員長 堀田 毅(自
民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和44年度農業関係国費予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、ついで農務部長から国費予算の内示概要についての説明を聴取。

- ② 農務部長から、十勝支庁管内において発生した牛の流行性感冒に対する防疫措置の状況について説明の後、

新村委員(社会)から、死亡の状況、未発生町村における牛の流感に対する啓発および予防措置の内容、末端における具体的な予防措置の徹底方、

山崎委員(自民)から、法定伝染病による事故家畜の補償額の増額要望に関するその後の経過
等について質疑、意見および要望があり、畜産課長、家畜衛生監から答弁。

- ③ 委員長から、さきの委員会において要求のあつた「牛乳の地域別工場の処理能力と推定出荷量」に関する資料の提出があつた旨を報告、ついで、酪農草地課長から提出資料について説明の後、

高橋(正)(自民)から、1工場当りの処理能力を135tと考えた根拠、本資料作成に当たり関係団体と協議し

た内容、ホクレンに諮問した4工場の新設認可に対するその後の態度、

新村委員(社会)から、牛乳の処理工場の設置について指定受託機関の答申を尊重方、

亀井委員(社会)から、酪農近代化計画の数字とこの見込み数字を対比したものおよび肉牛について同様計画と対比したものの資料

等について質疑、意見、要望および要求があり、農務部長および酪農草地課長から答弁。

- ④ 笠井委員(社会)から、政府の自主流通米の構想内容と本道に対する影響およびこれに対する道の対処方策について質疑、農務部長から答弁。

○2月20日 午後1時28分、第7委員会室において開議、
午後4時15分散会、委員長 堀田 毅(自民)

一般 議 事

① 笠井委員(社会)から、食糧管理制度および加工原料乳生産補給金等に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承。

② 笠井委員(社会)から、報告に関連して、加工原料乳生産補給金の43年度わくの不足見通しに対する見解、本道分の限度生産量666,420トンに達する時期とそれ以後の生産に対する補給金措置の見解および打ち切られる要素の有無、各府県の状態および全国わくの中しか調整し得ない状態の中における道の態度、新年度分に対する不安、

新村委員(社会)から、限度数量をこえた生産部分に対する構えおよび道費支出の考え、法の趣旨、本質をたらぬく努力、

小堀委員(社会)から、補給金の不足分に対する道の基本的姿勢、

朝日委員(自民)から、本制度に関し、一般会計でやれるよう法改正の検討方

等について質疑、意見および要望があり、農務部長および酪農草地課長から答弁。

③ 農務部長から、食肉行政の調査結果について説明の後、

新村委員(社会)から、この調査結果は行政監察局の指摘事項に対する回答であるが、さき要求した道の見解を示すことのできない理由、

作田委員(自民)から、と畜場の大型化、整備強化の取り扱いに関し、衛生部と調整する必要性および許可の基準を作る具体的方策

等について質疑、意見および要望があり、農務部長から答弁。

④ 委員長から、さきの委員会において要求のあつた「肉用牛および生乳生産の推移などに関する資料」の提出

があつた旨を報告。

⑤ 大方委員(社会)から、てん菜の昨年における作付け面積、生産量調査の実施方法、農業団体等の調査との不一致とその是正措置、てん菜糖業3社の総体的な輸送費の資料、集荷区域を決定する場合の1工場当たり原料集荷の基準、44年度以降における生産の伸びの見通し、現工場所在地域における作付け面積と反収を確保する考え、酪農とてん菜を結びつけた経営の是非、9工場の合理化方針について従来と基本的な変化の有無、他地域から原料調整をして運用しなければならぬとき、工場を新設することに対する考え、てん菜の集荷体制を農協系統に一元化することの可能性と話し合う意思、

新村委員(社会)から、てん菜工場の新設を再検討するときの要素、1社の合理化が各社にもたらす影響、てん菜生産地形成が進んでいることに対する見解、43年度作付け面積減少の原因、今後における増産および安定面積の確保対策、てん菜工場操業口数と歩どまりに関する資料、

小堀委員(社会)から、既存3業者が了解点に対しての場合無条件で許可することの有無および優先する条件、工場の新設と企業間の合理化との関連およびホクレン等から異議がでた場合の道の対処方策、日てんの工場新設と将来の展望との関連およびこの問題の解明時期、

笠井委員(社会)から、土別工場の場合、地域内生産とのむすびつきの有無、

亀井委員(社会)から、工場新設について、てん菜振興審議会に諮問することについての考え、日甜の要望書を受理した期日および申請書の提出の有無、工場新設に関連するてん菜生産量の推定についての資料等について質疑、意見、要望および要求があり、農務部長およびてん菜特産課長から答弁。

なお、散会后笠井委員(社会)から、43年度加工原料乳不足払い予算確保のため中央折衝の実施についての取り扱い方を委員長に一任することとした。

建設委員会

○1月20日 午後1時51分、第4委員会室において開議、
午後2時41分散会、委員長 池田 金助(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第182号 北海道防寒住宅建設等促進法の一部改正
の件 (保留)

陳 情

第141号 北海道防寒住宅建設等促進法改正の件
(保留)

一 般 議 事

委員長から、昭和44年度国費予算に対する中央折衝の経過について報告、ついで土木、建築両部長から予算の概要について説明を聴取の後、

井口委員(社会)から、用地費が国庫補助から地方債にかわったことに伴う家賃算定基準の動きについて質疑、建築部長から答弁。

○2月3日 午後2時42分、第4委員会室において開議、
午後3時23分散会、委員長 池田 金助(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第49号 倶知安町道樺山、比羅夫線を道道に認定の件 (採択)

第145号 普通河川鮫川の2級河川昇格の件 (採択)

第182号 北海道防寒住宅建設等促進法の一部改正の件 (採択)

陳 情

第141号 北海道防寒住宅建設等促進法改正の件
(取り下げ)

一 般 議 事

① 村本(政)委員(社会)から、改良住宅建設促進に伴う中央折衝の続行方およびその後の経過、

渡辺(浩)委員(社会)から、8,000戸のうち北海道分の見通しと中央折衝の必要性等

について質疑、意見および要望があり、建築部長から答弁、ついで、委員長から、中央折衝については、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程等については委員長に一任することとした。

② 津川委員(諸、公正ク)から、土木工事の早期発注と末端までの配慮の必要性

について質疑、意見および要望があり、土木部長から答弁。

農地開拓委員会

○1月18日 午前11時11分、第3委員会室において開議、
午前11時52分散会、委員長事故のため副委員長 佐々木 豊(自民)

一 般 議 事

① 副委員長から、44年度農地開拓関係国費予算要望に

関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、ついで、農地開拓部長から、農業基盤整備事業の内示内容等についての説明を聴取。

② 農地開拓事業推進に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定、派遣委員および日程については、委員長に一任することとした。

○2月3日 午前11時25分、第3委員会室において開議、
午前11時35分散会、委員長事故のため副委員長 佐々木 豊(自民)

一 般 議 事

① 委員長から、1月下旬に道下委員(社会)が農地開拓事業振興に関する中央折衝を行なった旨を報告、異議なくこれを了承。

② 農地開拓部長から、根釧パイロットファーム開拓の指導検査についての中間報告を聴取の後、

道下委員(社会)から、長期低利資金導入に対する努力方と現行制度の欠陥の有無についてまで掘り下げての検討方、

木南委員(共産)から、調査完了時に内容を質したい旨それぞれ要望があった。

水産委員会

○1月18日 午後零時33分、第6委員会室において開議、
午後2時53分散会、委員長 中松 英二(自民)

一 般 議 事

① 委員長から、昭和44年度水産関係費予算に関する中央折衝の経緯について報告、異議なくこれを了承、ついで、水産部長から、昭和44年度水産関係国費予算の概要について説明を聴取の後、

原委員(社会)から、新年度道予算における水産部の重点項目に本委員会での討議結果が生かされているか、道単漁港整備費増額の考え方、

武藤委員(社会)から、漁港の整備に関し、水産部、土木部、土木現業所の責任分野の明確化と機構上の根本的検討方、水産試験場のあり方に関し、漁民の意見を考慮した予算および機構の検討方、

奥野(一)委員(社会)から、漁港整備予算が後年次に増額され、事業量が増えた場合に対する道の体制と方策、

大内委員(自民)から、サケ・マスふ化場関係の国費予算増加を国に働きかけることの考え方、道が実施予定しているふ化事業の内容、道立ふ化場のあり方、不漁年におけるサケ・マス増殖事業協会の経営の安定化

を国か道で配慮する必要性

等について質疑、意見および要望があり、水産部長から答弁。

- ② 水産経済課長から、ニシンの消流状況およびソ連ニシン輸入差益積立で金の用途について説明を聴取の後、

原委員(社会)から、ソ連ニシン輸入に関し、水産庁、業界の最近の動向、輸入量が増加した場合の差益金の配分および流通機構における中間マージンが多いことに対する考え方と今後の方策、関係団体との話し合いについて委員長の配慮方、

大内委員(自民)から、流動的な中央および業者間の動向に対応した本委員会の公正な判断、43年かずのこの価格高騰の原因および差益金の使途で説明のあつた事項以外のもので高額使用の有無

等について質疑、意見および要望があり、水産部長および水産経済課長から答弁、委員長から応答。

- ③ 松浦委員(自民)から、北方海域における安全操業確保のため政府において入漁料方式をとるよう伝えられているが、領土問題を考慮した道の考え方、千島海域におけるソ連軍の演習についての対策、

武藤委員(社会)から、日ソ漁業交渉に臨む業者と水産部の考えのとりまとめ方

等について質疑、意見および要望があり、水産部長から答弁、委員長から応答。

- 2月7日 午後零時1分、第6委員会室において開議、午後零時5分散会、委員長 中松 英二(自民)

一般議事

- ① 委員長から、議長は1月29日付けをもつて奈良議員(自民)の辞職を許可した旨を報告。
- ② 大内委員(自民)から、ソ連ニシン輸入問題について、1月29日、道輸移入水産加工協同組合連合会および道水産加工組合連合会ならびに道漁連の代表者を招き事情聴取した経過について中間報告があつた後、本件の取り扱いについては引き続き理事会に一任することに決定。
- ③ 日ソ漁業交渉に関する要望のため委員を中央に派遣することについてはかり、異議なくそのことに決定、なお、要望書の案文ならびに派遣委員、日程等についても委員長に一任することをはかり、異議なくそのことに決定。

文教林務委員会

- 1月16日 午前11時50分、第10委員室において開議、午

後2時散会、委員長 渡部 勇雄(社会)

請願、陳情の審査

請願

- 第173号 北海道夕張北高等学校の間口存続の件 (保留)
- 第174号 北海道蘭越高等学校の間口確保の件 (保留)
- 第175号 北海道蘭越高等学校の間口削減中止の件 (保留)
- 第179号 夕張市内道立高等学校間口削減中止の件 (外1件) (保留)
- 第180号 北海道余市高等学校間口削減中止の件 (外17件) (保留)
- 第181号 北海道余市高等学校間口削減中止の件 (保留)

陳情

- 第61号 北海道鬼鹿高等学校存置の件 (保留)
- 第94号 北海道立工業専門学校を小樽市に設立の件 (保留)
- 第143号 北海道立赤平高等学校学級減反対の件 (保留)

一般議事

教育長、林務部長および学事課長から昭和44年度文教および林業関係国費予算の概要についてそれぞれ説明を聴取の後、

高田委員(社会)から、公立義務教育諸学校の教職員定数改善5カ年計画の算出決定による教育大生再募集の見通し、

山下委員(社会)から、昨年の私立幼稚園に対する補助実績

について質疑、教育長、学事課長から答弁。

本日聴取した陳情

高等学校適正配置計画について

夕張市代表

- 1月25日 午前11時38分、第10委員会室において開議、午後零時7分散会 委員長 渡部 勇雄(社会)

請願、陳情の審査

請願

- 第173号 北海道夕張北高等学校の間口存続の件 (不採択)
- 第174号 北海道蘭越高等学校の間口確保の件 (不採択)
- 第175号 北海道蘭越高等学校の間口削減中止の件 (不採択)
- 第179号 夕張市内道立高等学校間口削減中止の件 (外1件) (不採択)

- 第 180 号 北海道余市高等学校間口削減中止の件
(外17件) (不採択)
- 第 181 号 北海道余市高等学校間口削減中止の件
(不採択)

陳 情

- 第 61 号 北海道鬼鹿高等学校存置の件 (不採択)
- 第 94 号 北海道立工業高等学校を小樽市に設立の件
(不採択)
- 第 143 号 北海道立赤平高等学校学級減反対の件
(不採択)

以上の請願、陳情については、自民党から不採択とされたい旨、社会党から採択とされたい旨の意見があり、挙手による採決の結果、挙手少数にて不採択と決した。

- 2 月 3 日 午前11時52分、第10委員会室において開議、
午後零時 33 分散会、委員長 渡部 勇雄(社会)

一 般 議 事

- ① 教育長から、昭和44年度公立高等学校入学志願状況の概要について説明を聴取の後、

山下委員(社会)から、都市部における定時制志願者の減少傾向の把握状況、有朋高校における年次別入学希望者数および卒業数の資料、

杉本(省)委員(社会)から、高校再編制に伴い特に倍率の高くなつた高校の有無、間口削減による進学不可能な子供が多数出ていることに関連し事前調査に不十分なものがあつたのではないかと

について質疑、意見および要求があり、教育長から答弁。

- ② 昭和44年度文教林務関係予算にかかる本道わく確保のため中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定、派遣委員、日程については、委員長に一任することとした。

- ③ 西尾委員(自民)から、本道製材業安定対策に関連し、構造改善事業補助金交付額の決定に伴いどの程度転廃業が可能か道の方針、業界に対する今後の十分な指導方

について質疑、意見および要望があり、林務部長から答弁。

本日聴取した陳情

札幌盲学校校舎移転改築について

札幌盲学校父母と先生の会会長

産炭地における教育行政上の特別措置について

赤平市長

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

- 1 月 17 日 午後 1 時 41 分、第 8 委員会室において開議、午後 3 時 20 分散会、委員長 深山 和園(自民)

- ① 委員長から、津川委員(公正ク)の本委員会委員の辞任に伴い、朝日議員(自民)が補充選任された旨を報告、ついで、議席の変更について現在着席のとおりとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 委員長から、さきに実施した44年度開発予算等の中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、ついで、企画部長から内示額の概要について説明の後、

青木委員(社会)から、負担率と第2次内示の伸び率の不符合の内容とその資料、負担率の改訂に対する開発庁長官と大蔵大臣の会談の内容、市町村の負担の上昇率、篠津開発予算の減額と事業達成の見通し、国費事業完了後の補完事業に対する考え、米作の他作目転換奨励と農政上の関連、労災リハビリテーションの内示額が下回っていることに関連し計画の遂行方法、地域暖房および冬季オリンピックの財政措置状況からみた計画の見通し、北東開発公庫の対象業種の拡大、基準金利に対する考え方、

大石委員(社会)から、一般行政費の減額理由、てん菜輪作畑改良事業費が要求のちとなつた経過、計数整理ができる時期、

時田委員(社会)から、1割負担に関し、その内容と見直しおよびその適否について質疑、意見および要求があり、企画部長および調整課長から答弁。

- ③ 委員長から、第3期総合開発計画に関する資料の提出があつた旨を報告の後、本件の取り扱いについて理事会協議の結果のとおり、1月30日および31日に質疑を行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。

- 1 月 30 日 午後 2 時 11 分、第 8 委員会室において開議、午後 4 時 22 分散会、委員長 深山 和園(自民)

請願、陳情の審査

請 願

第 186 号 国鉄富内線廃止反対の件 (採択)

その他の議事

- ① 委員長から、奈良委員(自民)の議員辞職願いが1月29日付けて許可された旨を報告、ついで、自民党理事に大内委員を補充選任することをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 企画部長から、44年度開発関係予算について説明の

後、

青木委員(社会)から、直轄事業と補助事業のいずれを優先する考えか、直轄事業を前年度より下回つて要求した理由、地方債と開発予算との関連、新産都市指定の際の附帯意見の了知等

について質疑および意見があり、企画部長および調整課長から答弁。

- ③ 企画部長から、さきの委員会において提出された計画作成の基本的考え方および計画作成要領について説明を聴取の後、

青木委員(社会)から、道総合開発委員会に企画部が参与しているか、委員会決定を是正する余地の有無、本委員会との関連性、休憩して意思統一する必要性、

大石委員(社会)から、作成要領にいう「全庁一体」の考えの適否、委員会の基本的姿勢の検討方、

井口委員(社会)から、道総合開発委員会に対する本委員会のあり方に関し委員長の見解

等について質疑、意見および要望があり、企画部長および計画第一課長から答弁、委員長から応答の後、大沢委員(自民)から休憩の発言があり、午後3時40分休憩、午後4時9分再開、委員長から、休憩前の各委員の発言内容については、正副委員長、理事間で協議したい旨を述べ、引き続き、

青木委員(社会)から、3期計画の基準年次を42年度にとつた理由、事業の柱は何か、時代のすう勢や今後の農政等に対する考えと議会の意思反映の可能性等について質疑および意見があり、計画第一課長から答弁。

- 2月17日 午後零時3分、議会運営委員会室において協議会を開議、午後1時38分散会、委員長事故のため副委員長 改発 治幸(社会)

企画部長および計画第一課長から、昭和55年度における北海道経済の規模と構造(第1次試算案)について説明を聴取の後、井口委員(社会)、村本(政)委員、青木委員(社会)、大内委員(自民)および大石委員(社会)からそれぞれ意見があつた。

- 2月22日 午後零時3分、第8委員会室において開議、午後1時10分散会、委員長事故のため副委員長 改発 治幸(社会)

- ① 副委員長から、2月21日開催された道開発審議会について、理事会協議の結果、岩田委員(自民)および大石委員(社会)を派遣した旨を報告、異議なくこれを了承。

- ② 企画部長から、3期計画に関するその後の経過について説明を聴取の後、

青木委員(社会)から、計画策定に対する基本的方針、

計画の方向づけ、構想、政策を打ち出す必要性、道民の声、市町村のひずみ是正等の反映方法、市町村の10カ年計画を提出依頼した効果と作成の可能性および折り込む方策、基本的に民意を尊重する考え方、

大石委員(社会)から、第1次試算による政策変数のつなかりと生産所得の数値が変わつた理由、就業者数を訂正する必要性等

について質疑および意見があり、企画部長および計画第一課長から答弁。

石炭対策特別委員会

- 1月22日 午後1時5分、第8委員会室において開議、午後2時36分散会、委員長 福島 新太郎(自民)

- ① 委員長から、公正クラブの解散による田谷委員(自民)の辞任および湯田議員(社会)の補充選任に伴い、議席を着席のとおり一部変更することをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 委員長および山下副委員長(社会)から、さきに実施した44年度石炭対策特別会計予算に関する中央折衝ならびに石炭対策、産炭地振興危機突破全国大会の経過について報告書により報告、異議なくこれを了承、ついで、商工部長および労働部長から、44年度石炭対策特別会計予算の内示額についての説明を聴取。

- ③ 武藤委員(社会)から、新年度予算に関連して商工部の機構を改革すると聞いているが、それに対する所見について質疑、商工部長から答弁、副知事(那須)出席のため午後1時30分休憩、午後2時10分再開。

- ④ 湯田委員(社会)から、炭鉱改良住宅の道に対する割り当てわく拡大を国に働きかける考え、融資わくを炭鉱分として確保する必要性、鉱区統合に対する道の考え方を検討する必要性、炭鉱災害基金制度創設の必要性に対する見解

について質疑および意見があり、副知事(那須)から答弁。

- ⑤ 山下副委員長(社会)から、今後の6団体会議への出席および緊急事態に対応するための協議等に関し理事会に一任方について発言があり、委員長からこれをはかつて異議なくそのことに決定。

- 2月22日 午後零時45分、第5委員会室において開議、午後2時5分散会、委員長事故のため副委員長 山下 策雄(社会)

- ① 商工部長から、明治鉱業の本道関係炭鉱の閉山に関し、その概況について説明を聴取の後、

武藤委員(社会)から、明治鉱業社長との会談の内容、

閉山のなだれ現象防止に対する道の姿勢、炭労、私鉄等の行動に対する方策、火力発電所に関する北電との話し合いの必要性、労働力確保に対する基本的な考え方と他県の求人攻勢が閉山を促進していることに対する方策、保安確保に対する道の姿勢、産炭地私鉄に対する通産局との話し合い、昭和、本岐2山の存続に関する本委員会の意思決定と現地調査の必要性、

湯田委員(社会)から、昭和と大刀別の鉱区調整に対する指導の必要性、本岐に対し出資等による積極的な存続の姿勢の明示、石炭危機突破大会のような大会を開催する意思、閉山に関する中央折衝の際関係町村と統一して行なう必要性、他府県の求人活動に対し法違反としてのぞむ決意、

川合委員(社会)から、産炭地私鉄問題解決のための要望意見書の検討方、

小川委員(自民)から、九州と北海道における問題のあり方についての格差に対する検討の必要性について質疑、意見および要望があり、商工部長および労働部長から答弁、委員長から応答、現地調査および各委員の発言に伴う取り扱いについては、理事会に一任することに決定。

札幌オリンピック冬季大会特別委員会

- 1月21日 午後零時48分、第8委員会室において開議、
午後1時10分散会、委員長 中山 信一郎
(自民)

委員長から、44年度札幌オリンピック関係国費予算に関する中央折衝の経過について報告、異議なくこれを了承、ついで、オリンピック対策室長から、44年度競技施設費実施計画および工事内容ならびに関連公共事業実施計画について説明の後、

井口委員(社会)から、札幌市の地下鉄事業のその後の経過、

高田委員(社会)から、札幌新道の完成見通しと設計内容、北34条の立体交差と手稲地区の路線変更のその後の経過、

笠島委員(社会)から、地下鉄札幌駅北口の建設に関する話し合い
について質疑および要望があり、総務部長等から答弁。

- 2月4日 午後1時25分、第8委員会室において開議、
午後1時45分散会、委員長 中山 信一郎
(自民)

- ① 委員長から、1月29日付けで奈良委員、1月30日付

けて石林委員の議員辞職を議長が許可した旨を報告。

- ② 総務部長から、札幌、小樽間および札幌、千歳間の有料道路の進捗概況、札幌新道富岡地区の用地買収の経緯および稲穂地区の自然保護調査の結果ならびに地下鉄計画の現況について説明を聴取の後、

笠島委員(社会)から、地下鉄札幌駅北口に関し、将来に悔いを残さないよう検討の必要性

について意見があつた。

- ③ 委員会終了後、リユージュ競技施設の調査実施については、異議なくそのことに決定。

北方領土対策特別委員会

- 1月18日 午後3時19分、第8委員会室において開議、午後3時29分散会、委員長 杉本 栄一(自民)

- ① 委員長から、44年度国費予算に関する中央折衝の経過について報告書により報告、異議なくこれを了承、ついで、総務部長および領対本部長から、その後の経過について説明を聴取。

- ② 奈良委員(自民)から、44年度国費予算から墓参費用が削られているが、道予算に計上する考え
について質疑、総務部長から答弁。



新産業都市建設促進道県議会協議会

全国都道府県議会議長会

- 1月23日 都道府県会館において幹事会を開催、会長あいさつの後、43年度本会補正予算、44年度本会予算ならびに臨時会の運営等について協議した。
- 1月23日 都道府県会館において臨時会を開催、会長および自治省事務次官からあいさつの後、会長から新任の正、副議長を紹介、ついで全議局長から、44年度地方財政政策の経過報告ならびに43年度本会補正予算について説明があり、異議なくこれを了承、ついで協議に入り、44年度本会予算案は原案どおり可決、議員報酬の定め方については今後各ブロックで検討するとともに全議においても地方6団体と連絡の上研究することに決定、なお、地方自治法および公選法の改正については、今後の事態の推移にしたがい、臨機の措置を会長一任とすることに決定して散会した。

都道府県議会議員共済会

- 1月23日 都道府県会館において理事会を開催、代議員会の運営等について協議した。
- 1月23日 都道府県会館において代議員会を開催、会長あいさつの後、協議に入り、44年度共済会事業計画および予算案を原案どおり認定して散会した。

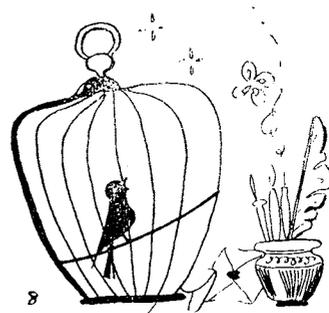
全国都道府県議会畜産振興対策協議会

- 1月8日 都道府県会館において役員会を開催、会長（北海道議長）あいさつの後、協議に入り、農林省畜政課長等から昭和44年度畜産振興関係予算の大蔵省第1内示及び今後の見通しについて説明を聴取の後、畜産振興関係予算の確保に関する要望を会長に一任することとし、なお関係各県議長に要望書を作成次第東京事務所を通じて届け個別に自県選出の国会議員に対し要望することを全員了承して閉会した。

- 1月9日 都道府県会館において総会を開催、会長（岡山県議長）あいさつの後、経済企画庁および自治省関係者から、新産業都市建設関係予算の大蔵省第1次内示の内容について説明を聴取、このあと岡山県局長から、本会総会（8月6日）以後の経過について説明の後、協議に入り、昭和44年度政府予算編成に対する新産都市建設促進関係重点要望を決定し、閉会后直ちに関係各省庁等へ要望することを了承して閉会した。

10都道府県議会議長会

- 1月24、25日の両日 東京都において開催、つぎの事項について協議し、関係方面に要望することとした。
 - 1 東北新幹線並びに青函トンネルの早期実現について
 - 2 看護婦確保対策について
 - 3 有料道路の建設促進について
 - 4 交通遺児の救済についての特別立法と緊急措置に関する要望について
 - 5 火災共済協同組合強化のための税制改正について
 - 6 老人福祉対策の強化について
 - 7 国鉄山陽新幹線の全線早期完成について
 - 8 東海道遊歩道路計画について



1月のメモ

- 2 ○裏日本に豪雪、国鉄ダイヤ大混乱、列車52本遅休、道内でも美唄、岩見沢に集中豪雪。
- 9 ○北海道釧山センター岩見沢市に開所。
- 10 ○政府、新石炭再建政策を決定、再建交付金1,000億円。
- 11 ○最高裁判所長官に石田和外氏を任命。
- 14 ○44年度予算政府案決定、一般会計6兆7,395億円、前年度比15.8%の伸び、財政投融资計画3兆770億円、前年度比14%の伸び。
○自治省、新年度地方債計画をまとめる、模範7,800億円、辺地対策費等伸びる。
- 15 ○44年度道開発予算案決まる、1,523億2,611万9,000円前年度比13.9%の伸び。
- 17 ○安田副知事退職。
○道医療総合対策協、北海道地域医療について中間答申、センター病院構想実現のため、看護婦の増員対策急務。
- 20 ○ニクソン米大統領就任。
○道自治研修所開所式、地方公務員育成の場へ。
- 27 ○第61通常国会再開、首相施政方針演説、日米安保体制の堅持と沖縄返還、中国政策、物価対策、大学改革などを強調。
○政府、44年度の経済見通しを決める、実質成長率9.8%、消費物価5%の上昇。
- 29 ○道議奈良敬蔵氏辞職。
- 30 ○道議石林清氏辞職。
- 31 ○道議松尾三良氏公選法違反で失格。

2月のメモ

- 1 ○道土木部、42年度建設業白書を発表、業者の増勢により過当競争が激化、倒産前年の44%増。
- 3 ○道労働基準局、42年の労働災害事故をまとめる、前年より、7.2%減少、安全運動ようやく徹底。
- 5 ○外資審議会、第2次資本自由化を答申、カラーテレビなど155業種を追加。
- 7 ○4日～6日にかけて本道に暴風雪、孤立状態の市町村19、国鉄、道路壊滅、臨休校1,200校越す。
- 8 ○漁港審議会、漁港整備第4次計画を決定、44年度から5カ年計画、道内修築対象は73カ所。
- 12 ○政府、公害防止に関する環境基準を決定。
- 13 ○日ソ航空交渉妥結調印、東京ーモスクワ線日航の自主運航、3月から実現。
- 15 ○労働省、43年の勤労統計を発表、名目賃金14%増(実質8.5%前年上回る)労働時間短縮傾向。
- 17 ○通産省、43年の鉱工業生産の動向を発表、3年間で60%上昇、機械工業の伸びが原因。
- 18 ○建設省、住宅政策5カ年計画基本方針を発表、住宅1人1室を目標、職場と住宅の近接を図る。
- 19 ○道総合開発委員会、昭和55年の本道経済を試算、生産所得5兆億円に、2・3次産業90%占める。
- 20 ○道衛生部、昨年的人口動態を発表、出生、死亡は低率、自然増6万人。
- 21 ○閣議、43年の農業白書を発表、米依存から脱却、自立経営を育成。
- 24 ○農林省、初の稲作転換実施要領案を発表、44年度1万ヘクタール、10アール当たり2万円の奨励金支給。
- 25 ○第1回定例道議会開会。
○道開発局、新交通安全の施設整備計画を発表、56カ所に横断歩道橋、地方道の整備促進、国道危険箇所70%解消。
- 26 ○自治省、43年度特別交付税の配分を決める、過疎対策に重点、総額666億8,000万円、北海道47億円。
- 28 ○閣議、44年度地方財政計画を了承、単独事業を大増、財政規模6兆6,390億円。
○総理府統計局、43年度のサラリーマン家計調査を発表、実収入、月8万7,389円、前年対比11%の増、消費支出月7万2,560円、前年対比10.9%の増。